

トーマス・サンカラと“有益な”クーデター

ニューヨークで発行されている「ブラックスター」という黒人誌の記事です。原題は「ギニアのクーデター：無益な大統領から無益な軍事政権へ」となっています。

「良いクーデター」はありませんが、有益なクーデターはある、それが1983年にブルキナファソで起きたクーデターであり、トーマス・サンカラの革新政権だった。わずか4年後にフランスの仕組んだクーデターで政権は打倒され、サンカラは殺されてしまうが、その功績はいまだに不滅である。サンカラ後のアフリカでは、サンカラの政治がすべての政権の有益さのものさしになるだろう。

ということで、「今度のギニアのクーデターに関しては、評価を少し保留しよう」という呼びかけのようです。

GUINEA COUP: WILL USELESS PRESIDENT CONDE BE REPLACED BY USELESS MILITARY?
BLACK STAR NEWS EDITORIAL
SEPTEMBER 06, 2021

<http://www.blackstarnews.com/global-politics/africa/guinea-coup-will-useless-president-conde-be-replaced-by>

アルファ・コンデ大統領

アルファ・コンデ(83歳)は無益な(useless)大統領だった。

昨年、彼は憲法を強引に改正し、大統領の任期制限を撤廃した。そして彼が3期目の大統領になれるようにした。彼は、他の多くの政治家がアフリカで行ったように、自身の利益のために憲法を細断し蹂躪した。

いい厄介払いだ。

しかしコンデに代わった陸軍司令官も似たようなものだろう。彼はフランス軍の元外人部隊将士官で、新植民地主義者の訓練を受けた人物である。

クーデターというのは、みな、そうしたものだろうか？



サブサハラ諸国

サンカラの精神

1983年、オートボルタのトーマス・サンカラは、クーデターで権力を掌握した後、野心的な変革を試みた。

トーマス・サンカラが権力を握ったのはわずか4年間だった。しかしその間に、彼はアフリカの政治に新たな息吹を注いだ。

サンカラは何百万人ものアフリカ人の希望を取り戻した。サンカラは、権力が正しく用いられれば、アフリカ人の生活を変えることができることを示した。サンカラが権力を握ったわずか4年間で、彼はアフリカの政治に新たな息吹を吹き込んだ。



ウィキペディアより

彼は何百万人ものアフリカ人に希望を取り戻した。サンカラは、政治権力というものが適切に行使されると、アフリカ人の

生活を変えることができるのだということを示した。

だが、ギニアの新しい統治者ママディ・ドゥンブヤ(Doumbouya)中佐が同様の道を取るとは考えられない。

サンカラのやったこと

サンカラは国名をブルキナファソ(Burkina Faso)に変更した。それは「立ち上がった人々の国」という意味である

サンカラは腐敗とエリート主義と戦った。

彼は彼自身を含むすべての役人の給料を減らした。彼はメルセデスベンツのような豪華な公用車を禁止した。

彼は地方の自治体を組織し、成人教育を提供し、権力を草の根に移した。彼は人々を動員して何千もの地方の診療所や学校を建設した。

彼は食糧生産を促進し、3年以内に食糧を自給可能にした。彼は、織物・被服産業を手始めとして自国民の産業を促進した。そしてフランスなど植民地勢力への依存を打破することを目指した。

多くの西側の指導者でさえ環境問題を無視していたとき、彼は何百万本もの植樹を促進した。そして彼は、女性を重要なポストに付け、軍隊に採用することによって女性に力を与えた。

サンカラを襲ったクーデター

サンカラを襲ったクーデターは、アフリカではもっともありふれたものだった。

サンカラは1987年10月にクーデターで政権を逐われ殺害された。そのクーデターはフランスの要請に基づき、軍のNo.2のブレーズ・コンパオレ司令官によって実施されたものだった。

サンカラは、フランスが危険すぎると考えた人物であった。なぜなら彼は、アフリカの指導者でさえも人々のために貢献できることを示したからだ。

サンカラを殺したのは誰か

サンカラは、西側の金融資本に異議を唱えたとき、超えてはならないレッドラインを超えた。

1987年7月にアディスアベバでアフリカ統一機構(OAU)の対外債務問題特別会議が開催された。OAUはAUに先行する組織である。

サンカラは会議で発言し、各国指導者に、対外債務を共同して一括放棄するよう訴えた。

彼は、「債務の負担がアフリカ諸国の発展を妨げている」と述べた。そして「返済された債務数十億ドルは、生産的な開発プロジェクトから抜きとられ、外国の貸し手を豊かにするために転用されている」と非難した。

サンカラは、ブルキナファソが単独で債務返済を拒否すれば、私は来年のOAU会議の前に殺されるだろうと警告した。

「彼らは私たち全員を暗殺することはできません」とサンカラは言った。

アフリカの指導者たちは、サンカラの提案に同意してうなずいた。彼が「暗殺されるだろう」と話したとき、彼らは笑った。

しかし、アフリカの敵は笑わなかった。

会議の3か月後、サンカラは殺害された。そしてサンカラの代わりに、フランス植民地主義者の操り人形であるコンパオレが権力を握った。

今度のクーデターの意味

ギニアでの日曜日のクーデターは当然のことだ。コンデ大統領が憲法を改正し、権力への道をブルドーザーで均らして以来、反対と抗議運動が続いていた。

首都コナクリの路上でクーデター賛成派のちょっとした祝賀デモもあったようだ。

しかし新しい軍事支配者が、サンカラのように驚くほどの革命的な改革を導入しない限り、数ヶ月以内に同じ人々が路上に戻るだろう。そしておそらく、軍を権力から排除するよう要求するだろう。

新指導者ドゥムブヤは放送で言った。

「私たちはもはや一人の男に政治を委ねるつもりはありません。私たちは国民に政治を委ねるつもりです」

しかしこれがたんなる言葉のあやなのかどうかは、しばらく時間が経てばはっきりする。

アフリカの歩みを変えることができるのは、変革をもたらす気概を持った革命的なクーデターか、あるいは民衆の蜂起だけである。それこそが、西側の永続的な新植民地依存から、自分たちの運命を描こうとする国々への転換をもたらすのだ。

マリ、そしてチャドでも

2020年8月に軍がマリで権力を掌握した。その時、本紙の社説はマリの事件を「無益なクーデター」と呼んだ。

首謀者はアシミ・ゴイタ大佐だった。彼は9か月間、副大統領の地位に甘んじ、民間人と仲良く暮らした。そして2021年5月、この米国で訓練を受けた冒険家は、自分のために全権を掌握し、蜜月を終わらせた。

チャドでは、2021年4月19日に軍事独裁者イドリス・デビが暗殺された。その後、軍はフランスの支援を受けて権力を掌握した。

軍はイドリスの息子のモハメット・デビを新しい独裁者に指名した。しかし彼が長く権力を握る可能性は低い。

訳注： これら4国(ギニア、ブルキナファソ、マリ、チャド)はいずれも旧フランス領植民地であり、今もその強い影響下にある。

新型コロナとアフリカの政治・経済

新型コロナによるパンデミックはアフリカにおける商品の生産と輸出と観光を破壊した。そしてそれによって、すべての国の経済を弱体化させた。それは政治的圧力を高め、より多くの政権が崩壊する可能性をもたらした。

結局、政治家と軍幹部との権力闘争を終わらせることができるのは、アフリカの若者だけだろう。クーデターが発生したマリ、チャド、ギニアでは、若者たちが街頭で抗議していた。

確かに、これらのクーデターの多くは、軍のエリートによる絶望の表現である。彼らは、いつの日か、彼らが革命の奔流によって流されてしまうかと恐れているのだ。

望むらくは、ギニアの軍隊が1983年頃のブルキナファソのように変身して、私たちに「すまない、間違っていた」と謝らせるほどになってほしいものである。